

# 脱原発の展望を学ぼう

## 核のない未来へ 原発抜きの日本はいかにして可能か



吉井英勝氏略歴

1942年生。京都大学工学部原子核工学科卒。90年大阪旧4区から衆議院初当選。日本共産党中央委員、党原発・エネルギー問題委員長など。

大阪反核平和医療人の会は7月24日、保険医協会M&Dホールで特別講演会を開く。講師は原子核工学の専門家である衆議院議員の吉井英勝氏(日本共産党)。福島原発事故の本質とその責任、原子力に代わる自然再生エネルギーの活用と脱原発への展望を学ぼうと企画した。同会代表世話人・山上祐志副理事長が参加を呼びかけている。

福島第一原発の事故による被害が拡大するなか、国内外で原発に反対する世論が高まっている。NHKの電話世論調査で、「原発を段階的に減らし、将来はやめること」には74%が賛成。風力や太陽光などの自然エネルギーが「原子力にとってかわるエネルギーになると思うか」との問いには64%が「なると思ふ」と答えた。一方、「イタリヤの原発反対の国民投票をとりあげてきた。原発の『想定内』の問題をどうあけてきた。原発の『安全神話』が崩壊したいま、核のない未来へ、原発抜きの日本はいかにして可能かをともに学びたい。

【日時】7月24日(日)午後2時  
【場所】M&Dホール  
【定員】150人  
【申込】協会事務局 ☎06-6568-7731

# 非軍事による人間の安全保障を

## 発足1周年記念講演会

大阪反核平和医療人の会は、ジャーナリストで軍事評論家の前田哲男氏を講師に発足1周年記念講演会「日米安保と沖縄の米軍基地」を6月12日、保険医会館で開催し

た。44人が参加した。米軍の被災地支援背景に安保改定

前田氏は、95年の阪神大震災では動かなかった日米軍が東日本大震災では自衛隊との共同行動「トモダチ作戦」を実施したことに触れ、二つの震災での対応の違いは事実上の「安保条約改定」といえる

る05年〜06年の「米軍再編」が背景にあると述べ、「トモダチ作戦」は、日米軍再編を受けた新たな日米安保戦略を実行する最初の共同作戦だったと指摘した。

高原周辺住民を「国策の被害者」として国が責任を持つと約束したのであれば、沖縄の基地周辺住民に対しても責任を負うべきとし、民主党がマニフェストで約束した「辺野古移設はしない」「日米地位協定の見直し」を普遍化させるべきと強調した。

論の変遷について言及。これからは、自然災害の「脅威」にも対応する「安全保障」体制を構築することが必要であると強調した。その上で、安全保障を「さまざまな脅威から国民を守る」と定義するならば、他国の侵略の脅威よりも地震や津波といった自然災害の脅威の方が大きいと指摘し、軍事的な安全保障より自然災害などから国民生活を守るために、自衛隊の再編・活用なども含めて体制を構築すべきとし、憲法9条だけでなく、25条の生存権も含めた非軍事的な「人間の安全保障」の必要性を訴えた。



軍事より災害の脅威への安全保障を訴える前田氏

基地集中の沖縄 国策の被害者

在日米軍の74%が集中する沖縄は、「本土決戦」での時間稼ぎのための捨て石にされ、本土復帰後は「安保の要石」とされた「国策の被害者」とであると指摘。今回の福

島の被害者として国が責任を持つと約束したのであれば、沖縄の基地周辺住民に対しても責任を負うべきとし、民主党がマニフェストで約束した「辺野古移設はしない」「日米地位協定の見直し」を普遍化させるべきと強調した。

論の変遷について言及。これからは、自然災害の「脅威」にも対応する「安全保障」体制を構築することが必要であると強調した。その上で、安全保障を「さまざまな脅威から国民を守る」と定義するならば、他国の侵略の脅威よりも地震や津波といった自然災害の脅威の方が大きいと指摘し、軍事的な安全保障より自然災害などから国民生活を守るために、自衛隊の再編・活用なども含めて体制を構築すべきとし、憲法9条だけでなく、25条の生存権も含めた非軍事的な「人間の安全保障」の必要性を訴えた。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

## 協会行事案内

お申し込みは ☎06-6568-7731  
電話 ☎06-6568-0564  
ファクス

個別指導対策講習会  
指導対策とカルテの書き方注意点  
日時 7月9日(土) 午後6時30分〜8時30分  
会場 M&Dホール 定員 100人  
講師 社保研究部講師団  
会費 会員無料  
内容 個別指導の対策と、日常のカルテ記載やレセコン入力に注意点について解説します  
※「カルテ記載を中心とした指導対策テキスト2010年8月版」を、ご持参ください

7月度生涯研修  
フルデンチャーの臨床〜全部床義歯調整の考え方と方法について〜  
日時 7月10日(日) 午前10時〜午後1時  
会場 M&Dホール 定員 100人  
講師 小野圭昭氏(大阪歯科大学高齢者歯科学講師)  
会費 会員3千円、未入会者1万円

三島地区講習会  
歯科における赤い口腔カンジダ症  
日時 7月16日(土) 午後6時30分〜8時  
会場 高槻市立生涯学習センター研修室(JR「高槻」駅、阪急「高槻市」駅から徒歩8分)  
講師 寺井陽彦氏(大阪医科大学感覚器機能形態医学講座口腔外科学教室講師)  
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人

北河内地区講習会  
患者トラブル対処の正しい心構え  
日時 7月16日(土) 午後6時〜8時  
会場 OMMビル会議室(各線「天満橋」駅すぐ)  
講師 尾内康彦氏(大阪府保険医協会事務局次長)  
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 50人

西部地区講習会  
歯科用CTの臨床応用について  
日時 7月17日(日) 午前10時〜午後1時  
会場 M&Dホール 定員 100人  
講師 江原雄二氏(西区開業)  
会費 会員無料、未入会者1万円

雇用対策講習会  
病院活性化の鍵 正確で上手な就業時間把握と残業計算  
日時 7月24日(日) 午前10時〜午後1時  
会場 保険医会館 定員 50人  
講師 桂好志郎氏(協会顧問社労士)  
会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です  
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

物件案内  
【所在地】東大阪市菱屋西1-13-31 最寄り近鉄大阪線「長瀬」駅  
【条件等】約45㎡、金額は面談の上  
【連絡先】090-9693-6695、D・fax 06-6724-1120 (佐多和子)

掲載内容の確認や条件などの交渉は当事者間でお願ひします。  
掲載のお申し込みやお問い合わせは新聞部まで ☎06-6568-7731